

# 45%利用 効果実感22%

厚生労働省の研究班は、健

康食品などを含む補充代替療

法の一環向けの手術「がんの

補充代替医療ガイドブック」

(第2版)を改訂に作成し、

ウェブ上で公開している。

研究班の実態調査では、が

ん患者の65%は健康食品を各

々補充代替医療を利用し、66

%を健康食品が占めた。一人

あたり平均月5万1千円を費

やしているにもかかわらず、

効果を実感している人は22%

に過ぎなかった。家族や友人

からの勧めで始めた人が78%

に上った。

「65歳以下の高学歴女性」

で「化学療法を受けた人」が

使う傾向にあり、がんの進行

の抑制や治療目的で使ってい

る。アガリクス、プロポリス

の順に使う人が多かった。

昨年度から新たに始まった

研究班では、補充代替医療の

安全性と有効性の検証に取り

組んでおり、各医療機関の症

例情報を集めている。担当の

埼玉医科大学の大野智彦は

「がんの治療は手術、抗がん

剤、放射線の3大療法が基

本。一部の健康食品は抗がん

剤の効果を高めることが指摘

されており、有効性を明らか

にすることが重要」と話す。

がんに対して健康食品は、

どれほどの効果があるのか。

「がん患者にアガリクスを

投与して効果を調べることは

難しく、ヒトへの効果は研究

中と言えしかないと、アガ

リクスのメーカーなどの協賛

で作るアガリクス・ブラスセイ

協議会(東京報)は言う。同

協議会は自主的に安全性の方

イドラインを決め、アガリク

ス商品の品質管理などに取り

組んでいる。

アガリクスは6年、あるメ

ーカーの商品に、動物実験で

がんの発生を促進する作用が

認められたと厚生労働省発表。

その影響から、市場全体の売

り上げも4分の1から5分の

1に激減したという。

多くの企業が撤退したが、

一部のメーカーは大学などと

共同研究を続けている。ヒト

を対象にした試験もあり、食

欲の向上や抗がん剤の副作用

の軽減といった効果も認めら

れるという。協議会の加盟メ

ーカーは「アガリクスの研究

を続けるのは、健康食品の素

材として面白く、理療性が期

待されるから」と話す。

一方で、過剰にアガリクス

の効果のアピールする業者も

いるといい、「アガリクスを

万能薬として売るどころは驚

ったほうがいい」と注意を呼

びかけている。